

こんなサークルが活動しています！
気になったら活動日に当館に来てみてください！

現在、茅野市尖石縄文考古館で活動しているサークルは、以下の3つがあります。
順に活動日や活動内容を紹介します。

- 土器サークル
- 尖石縄文編布（あんぎん）の会
- 土器楽会（どきらくかい）

◆土器サークル

・土器サークルの活動日

毎週火曜日（この日が休館日の場合は、休みまたは別の日に活動します。）

・土器サークルの活動

尖石縄文考古館に収蔵されている縄文土器を見本に土器の製作と野焼きをしています。
文化財である土器見本を大切にすること、年にひとつ以上の土器・土偶を作る方をメンバーの条件として土器づくりを学び、実践するグループです。



普段の活動風景（左）と完成作品の野焼き（右）。野焼きはキャンプファイヤー場を使っています。



ほかにも、「縄文教室」の土偶づくり体験の講師もしています。

◆尖石縄文編布の会

・尖石縄文編布の会の活動日

毎週木曜日（会員の都合により、活動しない日もあります）

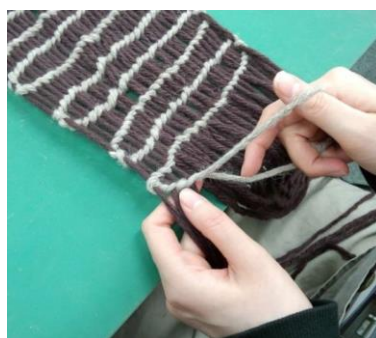
・尖石縄文編布の会の活動

縄文時代の布に関する研究をしているグループです。遺跡から出土した布の情報を元に、縄文時代の布づくりの技法といわれる「あんぎん」（編布、語源は「あみぎぬ」で、それが訛ったのではないかとされています）により布の製作を続けています。現在は、会員それぞれが自分自身の研究テーマや製作課題を設定して、活動しています。材料となるカラムシの栽培、収穫したカラムシから糸づくりもしています（糸作りは、縄文教室の講座のひとつとしても開講しています）。

また、全国各地の民俗資料や似たような活動をしている市民グループの活動見学に出かけていたりもします。



カラムシの収穫（左）と糸作り（右）。糸作りの写真は、収穫したカラムシの茎の表皮をはがして、ならしているところで、この後乾燥させてから、糸として撚っていきます。



縄文教室の指導のお手伝い（左）。過年度の縄文教室で作成中のマフラー（右）。

◆土器楽会（どきらくかい）

・土器楽会の活動日

毎月第3金、土、日曜日

（会員の都合により、活動日が変わることや休止になる日があります）

・土器楽会の活動

主に尖石縄文考古館に収蔵されている土器等を見本として、土器や土偶作りを楽しんでいるグループで、「見本である土器や土偶を大切にすること」「1年に一つ以上作ること」を条件として活動しています。

メンバーのなかには、近くに定住していない方もいるため、活動日時は週末と限られてしまっていますが、粘土も自分で調達したりしながら楽しんで活動しています。

作った作品の野焼きもします。近くに定住していない方もいるため、野焼きはおおむね年1回で、できないこともあります。

各サークルに興味がある方、活動のようすを見たいという方は、上記活動日に当館にお越しください。